

薬物依存対策拡充を

薬家連が厚労・法務省要請

13. 12. 18

全国薬物依存症者家

族連合会(薬家連)は

16日、厚生労働省と法

務省に薬物依存症対策

の拡充を求めて要請を

行いました。

同会は、厚生労働省

が来年度から実施を

検討している

治療拠点設置推進事

業について推進を求

めるとともに、法務省

には薬物依存改善を

図るための「刑の一部

執行猶予制度」の導入に

向けて、体制づくりと

家族支援の拡充などを

要望しました。

会の林隆雄理事長

は、「この精神科医

療機関にかかっても、

きちんとした依存症の

治療及び回復プログラ

ムを受けられることを

願っている」と訴えま

した。

厚生労働省の担当者

は、「治療拠点機関

を」数箇所設置して手

術的におすすめ「一般

精神疾患機関でも受け

たい

と回答しました。

要請には日本共産党

の塩川鉄也衆議院議員

が同席しました。



薬物依存症対策の拡充を求める薬家連の人たち(奥)。右端は同席した日本共産党の塩川鉄也衆議院議員。16日、参院議員会館。

高卒内定率

上昇し64.1%

来春卒業予定の高校生の就職内定率は10月末時点で、前年同期より3.2ポイント上昇し64.1%だったことが17日、文部科学省の調査で分かりました。4年連続の上昇で、200